

MAKYO

馬驥水墨画会報

發行所
馬驥水墨画会本部
〒170 東京都豊島区東池袋五丁目三九一六グランダムズ東池袋二〇一

[E]

O三(三九八七)七〇八〇

NO.6, 1996.11.15

第四回日中水墨画交流展

(会期十月一日～十月四日) 「日本馬驥水墨画会秀作与中国北京水墨画会全国本部」が十月一日東京芸術劇場において、日中水墨画交流展が開幕しました。

第一回を東京、第二回をアメリカ・ロサンゼルスで、第三回を中国上海、今回の第四回を再び東京で開催され、中国大使館文化部、日中友好協会全国本部、日中文化交流協会、NHK出版、国際中国美術家協会、豊島区、豊島区教育委員会、日曾出版社、日本美術教育センターの後援をいたたきました。

実行委員長に

鄧林女史

わらず、ここはよくも引き受けくださいました。また隨行秘書の陳蓮様(中国中央放送局主任記者)も来日され、馬驥水墨画会一同、心からの歓迎と感謝を致しました。

開幕式にはこ來賓として、

鄧林画伯

◆実行委員長のご挨拶

馬驥先生

のこ挨拶

第四回「日本馬驥水墨画会秀作与中国北京水墨画会全国本部」

盛大に開催され、中国画家を

代表して皆様方にお祝い申し

上げます。この度、馬驥水墨

画会の客員教授並びに交流展

の実行委員長をつとめること

を非常に喜びと存します。日

中国交が回復して間もない

年の静岡において、「中国

水墨画五人展」に次いで「鄧林、

馬驥二人展」、「画集出版記念会」馬驥水墨画会員のこ支

賀出版社、日本美術教育セン

ター、水墨画家の吳齊旺先生、

北岡文雄、豊島区教育長、

北岡文雄、豊島区教育長、</

丁紹光先生より お祝電

◆第二回「日中水墨画交流展」
実行委員長 丁紹光画伯より
祝電をいただきました。

第四回(一九九六年)日中

水墨画交流展(日本馬驥水墨

画会秀作と中国北京著名画家

名作展)を、日本で盛大に開

幕されたことを、お祝い申し

上げます。馬驥水墨画会は芸

術活動を通して、ますます美

術交流と日中友好のために貢

献されました。第二回の日中

交流展では馬驥水墨画会の展

覽会はアメリカ・ロサンゼル

スの美術界に大きな影響を与

えました。とてもすばらしかつ

た印象は、いまでもなつかし

く思い出しております。第四

回の日中交流展も必ず大きな

成功を祈ることをお祈り申

し上げます。

国際中国美術家協会会長

丁紹光

アメリカカロサンゼルスにて

一九九六年十月一日

開幕式終了後、午後四時十

五分より同会場に於いて受賞

式が行われました。

◆受賞者名

【馬驥水墨画会全国本部理事】

小川澄子、山崎發江、山口泰

子、田口婦美子、永田みえ子、

野島浅三、竹村トシ、込山洋

子、布峰子、島田皓紀、兼松

昌子、鈴木良子、杉山祥鳳、

高橋周子、高柳雅子、高野喜

與子、大瀧巨峰、高橋貫一、佐野たき、川手弘子、安藤一明、金松章恵、畠山悦子、根岸協子、岡正雄、

【中国駐日大使館文化部賞】
武藤カズミ、【鄧林芸術大賞】
廣住美智子、【馬驥芸術大賞】
藤井香、【日中水墨画交流展

大賞】山崎重之、加藤宏子、辻幸夫、柏木美保子、福留弘子、

徳納美津、【馬驥水墨画会大賞】箱根妙子、佐野クミ子、鈴木静江、大倉恭子、窪田薫

【馬驥芸術賞】松田明子、辻

大賞】山崎重之、加藤宏子、

人一人に賞状を手渡されました。ご指導下さった先生方に感謝し、喜びの賞状を受け取られました。(敬称略)

実行委員長 鄧林先生の講評

第四回日中水墨画交流展実

行委員長として、講評を致し

ます。会員の皆様の学年数

に違いがありますが、一途に

学習し創作された作品は、水

準が高く大きな進歩が見られ

ます。作品から見て伺える事

は学習態度が眞面目で、大多

数は大賞に値します。皆様方

は水墨画の学習を通して、日

中友好と日中文化交流の活動

に参加され、益々友好を促進

されました。これは我々の日

中水墨画交流展の目的です。

この交流展で皆様にお会いし

创作の精神に対しても深い印象

を受けました。また会員の皆

様は展覧会の準備に、披れる

ことを厭わず協力して、展

覧会を成功させました。最後

に展覧会の成功と、受賞者の

皆様にお祝いを申し上げま

ります。

◆審査委員長 広住美智子

昔中国の私の師、洋画とデッサンを学んだ王式廓先生と李苦禅先生は何時も私に教えてくれました。今後は絵を描くには自分自身の人格が必要です。

【鄧林芸術大賞】

ります。それは水墨画の特徴と、正しい水墨画の道が皆様の中に見えます。水墨画の指導者として私も、王荻地先生も、良い絵が描けています。何時も心配でしたが、今は皆さんの作品を見て初めて安心しました。とても嬉しくお願い致します。また

鄧林先生には遠いところ本当

にあります。どうぞいました。

【鄧林芸術大賞】

暖かい、ご指導を賜り感謝致しております。年齢を重ねて参りますと褒めて頂くと言ふことがあります。これを楽しみにしております。これでことが少なく、先生は少しでも良いところを褒めて下さる

ものが嬉しい、毎月の教室を楽

しみにしております。これで

ことが少なく、先生は少しでも

良いところを褒めて下さる

のが嬉しい、毎月の教室を樂

しみをしております。これで

ことが少なく、先生は少しでも

あります。四日間の短い期間にもかかわらず、来場者数は三千名を越える盛況振りで、大好評のうちに幕を閉じることができます。交流展の準備は、五月に出品要項を発送することから始まり、作品が集まる、番号を付け、出品目録を作り管理します。表装業者へ発送し、軸装が出来た作品のチェックと箱に番号を振り、併せて作品の審査と、秀作集作成のための写真撮影および編集の仕事は、膨大な作業であり、本部のスタッフだけでは間に合わず、埼玉支部と東京第五支部の皆さまの協力をお願いして、秀作集の作成は、渡辺芳子様に印刷所の紹介と連絡をして頂きました。会場準備に際ましては、多くの会員の方々からお手伝いのお申出があり、お気遣いを本当にありがとうございました。今回おもひました会場の設営は、運営上の都合から本部より各支部長、副支部長、および支部長代理の方々にお願いし、掛軸の展示や名札付けに大奮闘されました。また、王荻地先生と会場事務局次長の込山洋子様を中心として、開幕式の各支部の役割分担を協議などに、準備が終わる頃には夜十時を過ぎていました。開幕式当日の写真撮影は柏木美保子さんと李苦禅先生は、よく協力し、お手伝いしてくれた事、特に七十何歳、八十歳のこの年配の方も協力され本当に感動致しました。開幕式当日の写真撮影などをお願いしたデザイナーの牛草芳春様に何一つ描けなかった私を今日まで御指導下さった馬驥先生、王荻地先生に深く感謝申し上げました。今後は絵を描くに努力を続けなさいと言つてくださいました。今回は出品した作品をどうぞお引き受けとめています。

【鄧林芸術大賞】

第四回 日中水墨画交流展に寄せて

第四回

日中水墨画交流展は皆様方の多大なるご助力によ

り、四日間の短い期間にもかかわらず、来場者数は三千名を越

える盛況振りで、大好評のうちに幕を閉じることができます。実行委員長の鄧林画伯から一

人一人に賞状を手渡されました。ご指導下さった先生方に感謝し、喜びの賞状を受け取

られました。(敬称略)

第四回

日中水墨画交流展に寄せて

第四回

日中水墨画交流展は皆様方の多大なるご助力によ

り、四日間の短い期間にもかかわらず、来場者数は三千名を越

える盛況振りで、大好評のうちに幕を閉じることができます。実行委員長の鄧林画伯から一

人一人に賞状を手渡されました。ご指導下さった先生方に感謝し、喜びの賞状を受け取

られました。(敬称略)

第四回

日中水墨画交流展に寄せて

第四回

日中水墨画交流展は皆様方の多大なるご助力によ

り、四日間の短い期間にもかかわらず、来場者数は三千名を越

える盛況振りで、大好評のうちに幕を閉じることができます。実行委員長の鄧林画伯から一

人一人に賞状を手渡されました。ご指導下さった先生方に感謝し、喜びの賞状を受け取

られました。(敬称略)

第四回

日中水墨画交流展に寄せて

第四回

日中水墨画交流展は皆様方の多大なるご助力によ

り、四日間の短い期間にもかかわらず、来場者数は三千名を越

える盛況振りで、大好評のうちに幕を閉じることができます。実行委員長の鄧林画伯から一

人一人に賞状を手渡されました。ご指導下さった先生方に感謝し、喜びの賞状を受け取

られました。(敬称略)

第四回

日中水墨画交流展に寄せて

第四回

日中水墨画交流展は皆様方の多大なるご助力によ

り、四日間の短い期間にもかかわらず、来場者数は三千名を越

える盛況振りで、大好評のうちに幕を閉じることができます。実行委員長の鄧林画伯から一

人一人に賞状を手渡されました。ご指導下さった先生方に感謝し、喜びの賞状を受け取

られました。(敬称略)

第四回

日中水墨画交流展に寄せて

第四回

日中水墨画交流展は皆様方の多大なるご助力によ

り、四日間の短い期間にもかかわらず、来場者数は三千名を越

える盛況振りで、大好評のうちに幕を閉じることができます。実行委員長の鄧林画伯から一

人一人に賞状を手渡されました。ご指導下さった先生方に感謝し、喜びの賞状を受け取

られました。(敬称略)

第四回

日中水墨画交流展に寄せて

第四回

第十回 記念展

△会場伊勢丹新宿店新館八階

馬驥水墨画百十選展

会期 九月十九日(木)～

九月二十四日(火)

「馬驥水墨画展」が新宿伊勢丹で十回目を迎えることを記念して、特設会場にて百十選展が盛大に開催されました。

初日の十九日には、十時前に既に大勢の方たちが、展覧会場前に集まり、オープントークが開催されました。

同時に、一步会場に入ると、百十点の作品のすばらしさ、展示作品は全て渾墨山水画で富士山、鶴、雪景、大地、瀑布、波濤等を主題にした、大自然の風景の中に自分自身がたたずんでいるような錯覚を感じる、雄大な山々、霧や雲、波濤の飛沫、波の音、鶴や小鳥の鳴き声が聞こえるような気がしてくる。まさに「大自然の詩」の世界に浸る、「馬驥芸術の集大成」代表作を一堂に展示された会場には、お客様と会員の皆様方で一杯になりました。百十選展を記念して会場の大半の作品は画集「大自然の詩」に掲載されています。「馬驥水墨画集」「渾墨と潑彩の新境地」に続いて三冊目の画集が日貿出版社より出版されました。

廿三日には中国より鄧林画伯も来場され、一点づつ丁寧にご覧になりました。この日取材に来ていた朝日新聞他

三社の談話の中で鄧林画伯は

馬驥先生の新作を高く評価す

るとともに、長年の日中友好

に対するご尽力に賛辞を送られました。作品は次々に、予約済みのシールが貼られ、会場は連日賑わい、入場者も二千人を越える大盛会でした。

当日六時より、鄧林先生、秘書の陳蓮様の歓迎と、第十一回馬驥水墨画展開催のため、お世話をなった伊勢丹の美術関係者への、お礼と、先生を長年支えて下さった、お母様をはじめ、奥様の王荻地先生の暖かいお心遣いと、お子様の恵利さんご夫妻、とお孫さんの雅典娜ちゃん、息子さんの卓也さんご夫妻と、先生を長年ご支援下さった方々をお招きして馬驥水墨画百十選展・謝恩晩餐会がプラスリー茶屋にて行われました。

今後、馬驥先生は全国的な規模での個展を予定されていま

す。

◆新春展のご案内

毎年行われる新春展、第十五回「馬驥水墨画展」は静岡伊勢丹にて一月三日より八日まで開催されます。

中華芸術研究会合同展開幕

訪日団員

李雄風、李薇薇、辛鵬九、何念丹、林卓祺、孫以仁、孫以義、陳美惠、劉康年、勞繼雄、熊翠英、(十一名)

馬驥水墨画会主催

◎会期 一九九六年九月二十日(日)～十月五日(土)

新宿世界堂本店五階において、在米中華芸術研究会の会員合同展が開催されました。

アメリカ・ロサンゼルスの「米国中華芸術研究会」は会長は孫以仁女史、会員九十一名で、年二回の展覧会と「中國現代水墨画の動向」などの研究活動と国際交流を行い、今年は日本馬驥水墨画会主催のアメリカ在住画家訪日団の

開幕、諸先生方の独自性と様々な個性的な作品の描法など、日本語をお話しになられる先

生より、先生方の絵について、色々な描法を、お伺いするこ

とが出来ました。四十点あまりの水墨画を鑑賞、学習上の良い参考になりました。水墨画を通して、会話が出来なく

ても、表情やジェスチャー、文字により、諸先生と馬驥水墨画会の会員の皆様と楽しく過ごすことが出来ました。

馬驥先生が五年前にアメリカで、個展を開いた時にお会

大なご支援をいただいたお礼

十月二日(水)～十月五日(土)
馬驥水墨画展示館にて
孫以仁女史は、中国安寧省出身の七十二歳の、著名女流画家、十二歳より父親に画を学び、細密画を得意とし特に精密山水画の名人です。五十

歳の誕生日に、中国書画を

習の良い機会となるために学

画の良き機会となるために日本で個展を開催されました。

「林卓祺先生の実演」

広東に生まれ、芸術系の師

範大学を卒業された、先生

の絵は、色彩が美しく統一さ

れ、形にこだわらない画法が

特徴で、中洋画法を一体とし、筆法の綿密画法、色彩は艶麗、墨の軽重濃淡のほかは

アメリカ在住の画家と馬驥水墨画会員、三十名が参加しました。初めて中国式の全員

のサイン会を行い、馬驥先生

より女史の紹介と「第二回日

中水墨画交流展」がアメリカ

オーブンレセプションには

アメリカ在住の画家と馬驥水墨画会員、三十名が参加しました。初めて中国式の全員

のサイン会を行い、馬驥先生

より女史の紹介と「第二回日

中水墨画交流展」がアメリカ

の美を眼前に展開されました。

馬驥先生が五年前にアメ

リカ・ロサンゼルスで行つた際に多

くお世話をなつた

岸ユキ様のお祝いのご挨拶。

(9月23日)

いし、女史の伝統的技術と豊かな力ある山水画に感動し、その上織細な画風と人柄を尊敬され、水墨画の爱好者に学ぶ良い機会となるために日本で個展を開催されました。

を申し上げ、歓迎のことばに次いで、馬驥先生の画集「大自然の詩」をプレゼントなさいました。

次に研究会会員の

「林卓祺先生の実演」

を申し上げ、歓迎のことばに

次いで、馬驥先生の画集「大

自然の詩」をプレゼントなさいました。

次に研究会会員の

「林卓祺先生の実演」

を申し上げ、歓迎のことばに



「馬驥水墨画百十選展・謝恩晩餐会」にて、岸ユキ様のお祝いのご挨拶。(9月23日)



「米国中華芸術研究会」会長の著名女流画家の孫以仁女史と馬驥水墨画会会員の皆様。馬驥水墨画展示館前にて。(10月2日)

